

太田 廣

ゴムや合成樹脂類を取り扱う総合商社、太田廣(本社名古屋市中川区十一番町、太田直美社長、電話052-631-6100)は、人間の

手が持つ触覚情報や圧力、表面形状、温度などを人工的に検出できる「触覚センサ」(製品名)のユーザー開所に乗り出した。触覚情報を得るためシリコンをベースに開発した検知部分の「ソフトタッチパッド」に、読み取り用のドットを高精度印刷している。

センサは、中部大学工学部のロボット工学・学部の太田廣が、先端技術が研究を進めている。ソフトタッチパッドの周囲に印刷したドットの位置を、市販のCNCOSカメラで読み取り、独自の画像処理技術で検知位置、接触圧力、持ちやすさ(摩擦係数)を算出する道を進んでいる。

今後、中部生産性本部がコアパートナーとなり、中部大学が触覚学連携で技術開発に着手した。2カ月に1回のペースでプロジェクト会議を進め、このほど開催された展示会(第3回メカニカルメッセ)でユーザー開所を本格化に始めた。

本格的な事業展開の取り組みは、2017年春以降に本格化する計画で、既に展示会に足を運ぶ顧客の増加を

「触覚センサ」提案強化

圧力、表面形状、温度など検出

名古屋

情報は名古屋デスクへ

T E L 052(561)5212
F A X 052(561)5207

購読の
お申し込み

0520-565-123
11月～3月(日・祝日を除く)

WEB C の
お申し込み

中部経済

検索

部屋セレクト

名古屋のお部屋探しは

S-POINT
http://www.s-point.jp

モデルを完成させ、展示会場への出張展示がメッセの出展では、用意したチラシの枚数がなくなる。来場者から高い関心を集めた。

触覚センサを提出する場合は200人。

触覚情報検知部長は、同社3月までにユーザーを50人、契約先を増やしたい」と今後の展開を語る。同社の16年10月発表売上は110億円、従業員数は200人。

「触覚センサ」提案強化

ゴムや合成樹脂類を取り扱う総合商社、太田廣(本社名古屋市中川区)は、人間の手が持つ触覚情報や圧力、表面形状、温度などを人工的に検出できる「触覚センサ」(製品名)のユーザー開所に乗り出した。触覚センサは、触覚情報を得るためシリコンをベースに開発した検知部分の「ソフトタッチパッド」に、読み取り用ドットを高精度印刷している。

(記事は4面に)

NEWS
イベント

本格的な事業展開の取り組みは、2017年春以降に本格化する計画で、既に展示会に足を運ぶ顧客の増加を

